

EqRobo - EqWatch アドオンツール

Version 1.0.0.1 対応 (2014/05/17)

EqRobo は、EqWatch で取り扱う緊急地震速報および微小地震検出結果を Twitter に自動投稿する EqWatch のアドオンツールです。

事前の準備

Tweet を投稿する Twitter アカウントを事前に準備してください。そのアカウントに対して緊急地震速報および微小地震検出についての情報を自動投稿します。

インストール

実行ファイル EqRobo.exe を 必ず EqWatch フォルダにコピーしてください。
EqWatch フォルダ内の EqRobo.exe を単独で実行して初期設定を行います。

EqRobo 設定の前に

下の「EEW 情報を正しく tweet する条件」および「強震モニタ監視情報を正しく tweet する条件」を EqWatch で必ず実行してください。

関連アプリ認証

これは Tweet 自動投稿を行う許可を EqRobo に対して与えるものです。利用する Twitter アカウントごとに必須の手続きです。

以下の手順にしたがって EqRobo の関連アプリ認証を行ってください。

なお、連携アプリ認証を取り消すときは、ブラウザで Twitter サイトを開き、ログイン後、設定画面で「アプリ連携」を選択して、「許可を取り消す」をクリックしてください。

また、EqRobo の関連アプリ認証は最初の 1 回だけです。

1. 「アプリ認証」タブを表示し、Step 1 の右にある「実行」ボタンをクリックして「関連アプリ認証」の手続きを開始します。
2. Step 2 の右にある「実行」ボタンが有効になったら、これをクリックします。
3. 規定のブラウザが自動で開かれ、Twitter サイトが表示されるので、（ログイン済みでなければ）準備した Twitter アカウントの「ユーザー名」および「パスワード」を入力し、さらに「連携アプリを認証」ボタンをクリックします。

4. PIN コード画面が現れるので、ここに表示された PIN コード（数字）を EqRobo の Step 3 の「PIN」ボックスに入力し、「実行」ボタンをクリックします。なお、この PIN コードは画像であるため、コピー＆ペーストはできません。キーボードから入力してください。



- これで「関連アプリ認証」は終了です。Step 4 のテキストボックスに適当に文章を入力し、「投稿」ボタンで投稿できるかどうかチェックしてください。

緊急地震速報フォーマット



Tweet に含めることのできる項目は、EEW 情報、文字情報、全角/半角スペース、改行、震源地図 URL、EqWatch メインウィンドウ画像です。

Tweet に加えたい項目を左側の各ボックスで選択／入力し、各追加ボタンをクリックすると、その項目が右側の「選択された項目」ボックスに追加されます。

「選択された項目」ボックスに追加された各項目は、上から順番に Tweet 内容に追加されま

す。

「EEW 情報」ボックスでは、緊急地震速報に含まれるすべての情報を選択することができます。これらは、カッコなしの文字列で、左側の「選択された項目」ボックスに追加されます。

なお、「報番号」は必須項目です。これによってまったく同じ内容が投稿されないようにします（Twitter では同内容の連続した投稿でエラーが発生します）。

「文字情報」ボックスには Tweet 出力に加えたい文字列を入力します。これらユーザ文字列は「選択された項目」ボックスに[]カッコ付きで追加されます（例: 「[*地震]」）。

「区切り文字」ボックスによって、スペースや改行などの特殊文字を選択することができます。これらの特殊文字は「選択された項目」ボックスに<>カッコ付きで追加されます（例: 「<改行>」）。

項目を追加するごとに「選択された項目」ボックス下の「文字数」カウンタが変化します。Twitter の最大文字数（140）よりも、最大でも 2、3 文字だけ少なくなるようにしてください。

各項目の説明

選択できる項目	説明	文字数
現在日時	現在の日時を出力します。例: 「2014/05/01 12:34:56」	19
現在時間	現在の時刻を出力します。例: 「12:34:56」	8
地震 ID	各緊急地震速報の 14 桁の地震 ID を出力します。	14
報番号	緊急地震速報の各報に対して出力します。例: 「第 3 報」。必須項目です。	4
最終報	最終報のときのみ「（終）」を出力します。最終報以外では空白になります。	3
発表時刻	緊急地震速報の電文発表時刻を出力します、。例: 「12:34:56」	8

受信時刻	緊急地震速報の受信時刻を出力します。SignalNowExpress が受信した時刻です。例: 「12:34:56」	8
地震発生時刻	地震発生時刻を出力します。例: 「12:34:56」	8
震央地名	震央名を出力します。例: 「三陸沖」	10
震央コード	震央名に対応する震央コードを出力します。例: 「288」	3
震源の緯度経度	震源の経緯度を出力します。例: 「12.1N 113.4E」	12
マグニチュード	地震の規模をマグニチュードで出力します。例: 「5.4」	3
震源の深さ	震源の深さを出力します。例: 「120km」	5
現在地の予想震度	現在地の予想震度を出力します。例: 「3.4」	3
最大震度	緊急地震速報に含まれる最大震度を出力します。例: 「5 弱」	3
P 波の猶予時間	P 波の猶予時間を出力します。到達前の出力例: 「P 波到達まで 96 秒」、到着後の出力例: 「P 波到達」	10
S 波の猶予時間	S 波の猶予時間を出力します。到達前の出力例: 「あと 12 秒」、到着後の出力例: 「到達」	6
精度	緊急地震速報の精度について出力します。例: 「レベル法（低）」、「テリトリ法（中）」、「グリッドサーチ法（高）」	11
EEW 確度	緊急地震速報の信頼度をパーセントで出力します。「100%」は予想震度とリアル震度が一致したこと示し、100%を下回れば予想震度よりもリアル震度が小さく（過大予想）、上回れば予想震度よりもリアル震度が大きい（過小予想）ことをそれぞれ表します。	4
現在地の警報	現在地に対する警報の有無を出力します。例: 「警報」。現在地に対して警報が発令されていないときは空白です。	2
警報地域の数	警報が発令された地域の数を出します。例: 「3 地域に警報」。警報が発令されていないときは「予報」と出力されます。	7
計算結果	緊急地震速報に基づく予想の計算結果を出力します。例: 「正常」、「震央距離異常」、「震源データが計算範囲外」	15
震源地図 URL	緊急地震速報で発表された震源の経度緯度の情報をもとに、Google マップで表示できる URL を出力します。例: 「...」	23
メイン画像 URL	各報を受信した時点でのメインウィンドウの地図画面を添付して Tweet を投稿します。	23

重要

EEW 情報を正しく tweet する条件

- EqWatch 設定 [ポップアップ] タブのポップアップ条件を適切に設定する
- EqWatch 設定 [メインウィンドウ] タブの「表示時に強震モニタを自動スタートさせる」をチェックする
- EqWatch 設定 [メインウィンドウ] タブの「強震モニタ巻き戻し機能を有効にする」をチェックする
- EqWatch 設定 [メインウィンドウ] タブの「微小地震検出で拡大表示画面の中心座標を調整する」をチェックする

5. EqWatch 設定 [ポップアップ] タブの「ポップアップ時に拡大表示画面を表示する」をチェックする

EqWatch 設定 [ポップアップ] タブの「都道府県マップを優先する」のチェックを外す

地震検出情報フォーマット



Twitter に含めることのできる情報は、強震モニタ監視情報、文字情報、全角/半角スペース、改行、震源地図 URL、EqWatch メインウィンドウ画像です。

Tweet に加えたい項目を左側の各ボックスで選択／入力し、各追加ボタンをクリックすると、その項目が右側の「選択された項目」ボックスに追加されます。

「選択された項目」ボックスに追加された各項目は、上から順番に Tweet 内容に追加されま

す。

「強震モニタ監視情報」ボックスでは、強震モニタ監視で得られるすべての情報を選択することができます。これらは、カッコなしの文字列で、左側の「選択された項目」ボックスに追加されます。なお、「報番号」は必須項目です。これによってまったく同じ内容が投稿されないようにします（Twitter では同内容の連続した投稿でエラーが発生します）。

「文字情報」ボックスには Tweet 出力に加えたい文字列を入力します。これらユーザ文字列は「選択された項目」ボックスに[]カッコ付きで追加されます（例: 「[*地震]」）。

「区切り文字」ボックスによって、スペースや改行などの特殊文字を選択することができます。これらの特殊文字は「選択された項目」ボックスに<>カッコ付きで追加されます（例: 「<改行>」）。

項目を追加するごとに「選択された項目」ボックス下の「文字数」カウンタが変化します。Twitter の最大文字数（140）よりも、最大でも 2、3 文字だけ少なくなるようにしてください。

各項目の説明

選択できる項目	説明	文字数
現在日時	現在の日時を出力します。例: 「2014/05/01 12:34:56」	19
現在時刻	現在の時刻を出力します。例: 「12:34:56」	8
検出時刻	強震モニタ監視によって地震発生が検出された時刻を出力します。例: 「12:34:56」	8
報番号	地震検出後の第 1 報に続いて、地震の広がりに応じて第 2 報...が投稿されることがあります。例: 「第 3 報」。必須項目です。	4
最大震度	地震検出時の最大のリアル震度を出力します。例: 「4.6」	3

検出都道府県の数	地震が検出された都道府県の数を出します。例: 「4」	2
検出都道府県リスト	地震が検出された都道府県名を gal 値とともに出力します（最大 4 都道府県）。例: 「北海道中部 32gal, 北海道南部 12.5gal...」	52
メイン画像 URL	地震を検出した時点でのメインウィンドウの地図画面、検出都道府県リスト（最大 8 都道府県）、拡大地図、Trace100 画像を 1 枚の画像にしたものを添付して Tweet を投稿します。	23

重要

強震モニタ監視情報を正しく tweet する条件

1. EqWatch で「強震モニタ監視」を有効にする
2. EqWatch 設定 [強震モニタ監視] タブの「モード」を「微小地震」にする
3. EqWatch 設定 [強震モニタ監視] タブの「ポップアップ」をチェックする
4. EqWatch 設定 [メインウィンドウ] タブの「表示時に強震モニタを自動スタートさせる」をチェックする
5. EqWatch 設定 [メインウィンドウ] タブの「強震モニタ巻き戻し機能を有効にする」をチェックする
6. EqWatch 設定 [メインウィンドウ] タブの「微小地震検出で拡大表示画面の中心座標を調整する」をチェックする
7. EqWatch 設定 [ポップアップ] タブの「ポップアップ時に拡大表示画面を表示する」をチェックする
8. EqWatch 設定 [ポップアップ] タブの「都道府県マップを優先する」のチェックを外す